



かけはし

第58号

令和8年3月13日

編集・発行
須賀川市農業委員会
TEL.0248-88-9165
(直通)

がんばる新規就農者紹介

ほん た たか ひろ
本田尚宏さん(矢沢)

本田尚宏さんは令和5年に新規就農し、スマート農業を取り入れて促成ハウスきゅうり6アール、施設露地きゅうり6アールを栽培しています。就農前の1年間、郡山市園芸振興センターで専門知識を学び技術を習得してきました。

現在、4棟あるハウスは経営発展支援事業の補助などを活用して建てたもので、自動灌水・自動換気システムを備えています。自動化により、作業負担は大幅に軽減され、かつ徹底した栽培管理の下で収量も増えてきたそうです。

これからの目標は、ハウスきゅうりの経営規模を拡大し、いろいろな販路の開拓に挑戦しつつ、楽しく農業をやりたいとのことでした。活躍が期待されます。

広報委員 古川 修一

目次

- ・がんばる新規就農者紹介 1
- ・農業委員・農地利用最適化推進委員活動紹介... 2
- ・農地等利用最適化に向けた
意見書を提出しました 3
- ・爽りの秋を満喫
「食」と「農」の未来を支える子供たち~ 3
- ・「うまい米」決定戦 結果発表！ 3
- ・キラリ ☆ 女性農業者紹介 4
- ・農業委員・農地利用最適化
推進委員を募集します 4





農業委員・農地利用最適化推進委員の 主な活動を紹介します!

県外研修・福島県下農業委員会大会に参加しました

昨年11月5日に県外研修を宮城県栗原市で、翌6日に福島県下農業委員会大会が「パルセいいざか」でそれぞれ開催され、農業委員13名、農地利用最適化推進委員13名が参加しました。

◆県外研修

意見交換を行った宮城県栗原市農業委員会は、農業委員24名(うち女性4名)、農地利用最適化推進委員21名(うち女性1名)の体制で活動しています。

現在、本市にいない女性農業委員の選出方法やその活動内容について質問したり、遊休農地解消への取り組みや農業者年金推進活動についてなど活発な意見交換が行われ、今後の活動に有意義な情報を得ることができました。



広報委員 根本 充佳

◆福島県下農業委員会大会



冒頭、各種大会表彰の後「食料安全保障と農政改革について」と題し、食品産業センター理事長の荒川隆氏を講師に迎え、記念講演が行われました。農政の主要課題である「米」について、最近の需給や価格高騰をめぐり望ましい政策について、わかりやすい説明で大変参考になりました。

あらためて農業委員会は、その活動を通し私たちの食料安定供給の確立と農業・農村の振興を図るために、地域の声を国の施策になく重要な立場にあることを再認識しました。

北海道北斗市からの農業委員視察研修を受入れました

広報委員 橋本 孝一



昨年10月30日に、北海道北斗市より農業委員14名が本市を訪れ、視察と意見交換を行いました。男爵いも誕生の地である北斗市は、函館市の北西に位置し、南に津軽海峡を臨んでいます。

北海道の水田発祥地として、稲作中心の農業が行われており、経営耕地面積が4,200haあり、農家一戸あたりの耕作面積は5.5haと「北海道の農家は大規模経営」のイメージに反して集約的な複合経営が特徴とのこと。また、太陽光発電の設置は条例で禁止されており、許可された営農型発電施設が一か所あるのみとのこと。

意見交換で特に印象的だったのは、農業委員改選の際に定員18名を上回る33名の立候補者がいたうえ、選任された農業委員のうち、女性が5名いるということです。これは女性農業委員の登用率が3割となり、各農業委員会が目標とする女性農業委員割合の理想的なバランスと言えます。そのほか、遊休農地や新規就農対策、地域計画の見直し、本市でのタブレット導入状況、食農教育の取り組みについてなど、活発な質問や意見が出され、有意義な研修会となりました。

農地等利用最適化に向けた 意見書を提出しました

昨年9月26日、農業委員会は本市農業の持続的発展のため、次のことに関する意見書を市長へ提出しました。

- ① 農業担い手への農地利用の集積促進
- ② 遊休農地の発生防止・解消促進への対応
- ③ 新規就農者等の確保・育成について
- ④ 農業振興対策について(スマート農業への支援等)
- ⑤ 地産地消・食農教育の推進について



農業委員会は、農業に従事される方の積極的な意見を市へ伝え、農家と市の「かけはし」になることを目指します。※意見の詳細は市HPをご覧ください。 [須賀川市農業委員会](#) 🔍 検索

実りの秋を満喫 「食」と「農」の未来を支える子供たち〜

白方小学校
▼ライスセンターの見学



認定こども園りのひら ナシ収穫体験▼



農業委員会では未来の「食」と「農」を支えることを目的に、各地域の農業委員や農地利用最適化推進委員の協力により、農業用施設の見学や収穫体験を行っています。未来を支える子どもたちが農業に触れる機会を創出するため、これからも農業体験の支援活動に協力していきます。

昨年11月15日に、「米・食味分析鑑定コンクール国際大会in須賀川岩瀬大会」のプレ大会を須賀川市民交流センターteteteで開催したところ、県内から279点の出品がありました。
このうち一次審査を通過した20点の米を炊飯し、審査員が食味の審査を行った結果、8名の金賞受賞者が決定し、本市では小抜吉平さん(品種・ミルククイーン)が受賞しました。
本大会は令和8年12月5日〜6日に須賀川市民文化センターと円谷幸吉メモリアルアリーナを会場に開催されます。

「うまい米」決定戦 結果発表!



キラリ☆女性農業者紹介

もりとう なつみ
森藤 菜津美さん(梓衝)

トラクターの前で撮った一枚の写真は、優しい笑顔の菜津美さんと、はにかんだ笑顔がかわいらしい愛娘りおさんです。

菜津美さんは、お父さんが代表を務める「もりとう農園合同会社」で、畑40アールにさまざまな野菜を作付けしています。

また、農園が所有する広大な水田の作業の手伝いもしており、昨年の秋は、稲刈りはもちろん主に糶摺り作業を行ったそうです。

「以前は、お父さんと一緒に関東方面にお米の販売に行ったこともありまして。」との話も聞かせてくれました。



これからの目標は、昨年取得した大型特殊免許をいかし、まずは「田うな」をやってみたいとのことでした。

菜津美さんの熱い挑戦は、地域農業の未来へ向け着実に可能性を広げていくことでしょう。

がんばれ！菜津美さん
広報委員 森田 正樹

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します。

令和8年7月19日の任期満了に伴い、農業委員・農地利用最適化推進委員を次のとおり募集します。



役割

【農業委員】

任期 令和8年7月20日～令和11年7月19日

① 毎月の農業委員会総会に出席し、農地の貸借・売買、農地転用許可の審議決定

② 農地利用最適化推進指針を作成し、関係行政機関へ施策に対する意見の提出

③ 農地パトロール、利用意向調査の実施など
【農地利用最適化推進委員】

任期 委嘱日～令和11年7月19日

① 農地の利用最適化に向け、担い手への農地集積・集約化を促進

② 遊休農地の発生防止・解消へ向けた取り組み

③ 新規就農者等確保を促進など

応募方法

・ 一般推薦、団体推薦、応募(自薦)の3種類の応募方法があります。

・ 所定の届出様式(応募書類別)に必要な事項を記入のうえ、ご提出ください。

※届出様式のダウンロードは

こちらから↓



募集期間

令和8年3月2日(月)～3月31日(火)

※必着

提出・問合せ先

須賀川市農業委員会事務局(☎888-9165)

編集後記

暦も三月になると忙しい農作業の日々が待っています。

昨今は、米価の行方や遊休農地の増加、後継者不足、鳥獣被害等農業を取り巻く問題が山積みです。

このような状況下だからこそ、日々、明るく前向きな心で農作業に取り組みたいと思っています。

そのためにはまず自身が健康であることが一番です。農作業中も適度な休息を取り、安全手順を確認しながら事故のないよう作業に取り組みましょう。

そしてこれから先、自然災害のない穏やかな日々でありますように……

「かけはし」に対するご意見や情報をお待ちしています。

広報委員 有我 康志

広報委員紹介

◆橋本孝一委員長・小塩江地区

◆吉田和男副委員長・西袋地区

◆関根隆二(大東地区)

◆古川修二(石瀬地区)

◆有我康志(浜田地区)

◆宗像敏雄(稲田地区)

◆根本充佳(仁井田地区)

◆森田正樹(長沼地区)

